

2025 年度事業・活動報告

1. 寄付の造成

- ・福祉たすけあい基金、賛助会員募集に加え、「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成」プログラム実施に伴う寄付による寄付造成を行いました。

財団設立 13 年目を迎え、設立時からの寄付の総額は 292, 372, 421 円となっています。

1) 福祉たすけあい基金

(1) 全体の状況

	生活クラブ まちづくり基金より	組員	一般	合計
4 月		116, 600	55, 200	171, 800
5 月	5, 010, 200	120, 300	16, 800	5, 147, 300
6 月		115, 700	8, 400	124, 100
7 月		116, 300	0	116, 300
8 月		113, 900	0	113, 900
9 月		114, 700	14, 868	129, 568
10 月	5, 869, 150	114, 300	3, 000	5, 986, 450
11 月		115, 200	1, 200	116, 400
12 月		112, 300	22, 800	135, 100
1 月		96, 600	1, 200	97, 800
2 月		94, 200	9, 600	103, 800
3 月		96, 500	1, 200	97, 700
合計	10, 879, 350	1, 326, 600	134, 268	12, 340, 218

(2) 生活クラブまちづくり基金からの寄付

- ① 福祉たすけあい基金は 2024 年 10 月より生活クラブまちづくり基金からの寄付となりました。年度の寄付額については生活クラブまちづくり基金運営委員会で決定されています。
- ② 2025 年度の福祉たすけあい基金への寄付額は、前年度下期分の生活クラブまちづくり基金からの寄付額 5, 010, 200 円（5 月入金）と、2025 年度上期生活クラブまちづくり基金からの寄付額 5, 869, 150 円（10 月入金）の合計 10, 879, 350 円となりました。

(3) 福祉たすけあい基金＜一般寄付＞

- ① 一般寄付者は財団の前身である「たすけあい未来ファンド」からの継続寄付者、個人寄付者、助成団体等からの寄付（一口 1, 200 円以上で依頼／取組は任意）で構成されています。
- ② 9 月に「福祉事業センター・かわさき」の解散に伴う残余財産寄付がありました。

＜助成団体からの寄付＞

・フリースペースいろえんぴつ	（第 23 期、25 期福祉たすけあい助成）	1, 200 円
・たすけあいあさひ	（第 3 期福祉たすけあい助成）	3, 600 円
・こだぬき会	（第 23 期、25 期福祉たすけあい助成）	1, 200 円

合計 6, 000 円

福祉たすけあい基金一般寄付（月別寄付額）

月	寄付額	一般寄付者内訳
4 月	55,200	個人 22 名、2 団体
5 月	16,800	個人 1 名、3 団体（うち助成団体 1 団体）
6 月	8,400	個人 3 名
7 月	0	
8 月	0	
9 月	14,868	1 団体
10 月	3,000	個人 1 名
11 月	1,200	助成団体 1 団体
12 月	22,800	個人 9 名
1 月	1,200	個人 1 名
2 月	9,600	個人 1 名
3 月	1,200	助成団体 1 団体
合計	134,268	個人 38 名、8 団体（うち助成団体 3 団体）

(4) 福祉たすけあい基金＜生活クラブ組合員寄付＞

- ① 生活クラブまちづくり基金への移行確認ができない組合員からの寄付がありました。

(5) 寄付参加拡大に向けた活動

福祉たすけあい基金の取組拡大に向けて、生活クラブと連携して取り組みました。

主体	目 的	アクション	対 象 等
かながわ生き生き市民基金	助成結果の報告、活動報告	市民活動応援レポート 年 2 回（夏・冬号）発行 まちづくり基金への移行がまだの組合員には、寄付金証明書を送付する際に「移行のご案内」を同封し、移行を促した。 あわせて、活動情報 と 賛助会員のお願い（依頼書） も同封して送付した。	班戸配、デポー組合員へ配布 まちづくり基金への移行が完了していない組合員の 177 名の移行につながった。
	寄付循環	助成団体へ助成時に福祉たすけあい基金への参加を呼びかけ	2025 年度の助成団体
生活クラブ共済たすけあい委員会との共催	助成団体との交流	助成団体活動報告&贈呈式（第 23 期、第 24 期）	地域生協共済たすけあい委員会、組合員

2) 子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金（テーマ型プログラム）

- ・この基金は、市民が連帯し問題解決をめざす活動（子ども食堂・学習支援活動・フードバンク活動など）を応援するプログラムとして 1 口 1 万円の寄付を募集し、51 名、3 団体（2024 年度 38 名、1 団体）より合計 101 万円の寄付がありました。2025 年度は、大口寄付はありませんでしたが、多くの寄付参加があり共感を広げることができました。
- ・市民活動応援レポート、ダイレクトメール、ホームページ、メールマガジンなどで寄付を呼びかけました。

3) オーダーメイド寄付

2 団体より寄付がありました。

(1) JA 横浜

JA 横浜から 236 万円の寄付を受けました。

(2) 生活協同組合ユーコープ

「子どもの貧困をなくす」支援のため、ユーコープの組合員から寄贈いただいた、書き損じハガキ、未使用切手・ハガキなどを換金したものを、生活協同組合ユーコープから 160 万円の寄付を受けました。

4) 財団運営費への寄付

- ・生活クラブ生協からの法人寄付（250 万円）が 10 月にありました。
- ・個人 5 名から 9,663 円の寄付がありました。

5) 賛助会費

2025 年度は、個人 15 名、法人 7 団体の新規会員の拡大がありました。

個人会費 512,200 円（116 名）、団体会費 510,000 円（23 団体）、合計 1,022,200 円の納入がありました。

(1) 会員の状況

区分	人数・団体数	納入数
個人会員	188 名	116 名
法人・団体会員	42 団体	23 団体

(2) 個人会費

省略

(3) 団体会費

団体名	金額
(株)オルタフーズ	50,000
(株)ウエルライフ	30,000
共生食品(株)	20,000
(株)マルモ 青木味噌醤油醸造所	50,000
(株)秋川牧園	10,000
オルタスクエア(株)	50,000
(株)ニッコー	10,000
(一社) 神奈川県地域労働文化事業団	10,000
(株)双立デザイン設計事務所	20,000
新生酪農(株)	10,000
一般社団法人市民連帯経済つながるかながわ	20,000
(特非) 参加型システム研究所	10,000
(株)創土社	10,000
(特非) はだのあすなろ会	10,000
(公社) 神奈川県地方自治研究センター	10,000
(公財) 横浜 YMCA	10,000
(特非) 神奈川フードバンクプラス	10,000
福祉クラブ生活協同組合	100,000

NPO 法人ワーカーズコレクティブキャンディ	10,000
湘南生活クラブ生活協同組合	10,000
(特非) メダカのお弁当	10,000
神奈川県生活協同組合連合会	10,000
(特非) 全員参加による地域未来創造機構	30,000
合 計	510,000

2. 事業報告

1) 助成事業（公益目的事業1）

※助成団体については、別紙の参考資料：2を参照ください。

プログラム	第24期 福祉たすけあい助成 (通常)	第4期 子どもの貧困に立 ち向かう市民活動 応援助成	第25期 生活クラブ 福祉たすけあい助成 (スタート)	第4回 JA 横浜子どもの 未来支援助成	第5期 ユーコープ 子ども応援助成
募集総額	400 万円	100 万円	500 万円	200 万円	136 万円
募集時期	25 年 5 月	25 年 5 月	25 年 12 月	25 年 12 月	25 年 12 月
助成時期	25 年 9 月	25 年 9 月	26 年 3 月	26 年 3 月	26 年 3 月
申請団体数	12 団体	7 団体	17 団体	18 団体	31 団体
助成団体数	11 団体	7 団体	16 団体	17 団体	31 団体
助成額	3,986,000 円	531,960 円	4,459,364 円	2,000,000 円	1,360,000 円

(1) 福祉たすけあい助成（24 期、25 期）

福祉たすけあい基金は、市民基金を代表する助成プログラムです。組合員代表の選考参画（2 段階選考）、組合員リーダーと助成団体との交流（贈呈式や地域生協理事会等の団体交流・訪問活動）を通じた「地域課題の共有」が常設プログラムとしての発展に繋がっています。第 25 期から生活クラブ福祉たすけあい助成と名称を改めました。

この間、事前相談が定着し相談団体数は増えています。相談では、組織基盤強化の考え方や資金計画の立て方についても重点的に話し合いをしています。申請に至らない場合でも、次へのチャレンジに繋がっています。

(2) 第4期子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成（地域のまなび場支援）

テーマ型プログラムとして「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成」に取り組みました。遺贈寄付（広く終活寄付）の仕組みづくりとともに市民に呼びかけ立ち上げた「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援基金」を助成財源として、「地域のまなび場支援」をテーマに実施しました。他のオーダーメイドプログラムと助成対象期間が重なったため、申請団体が昨年度より半減しました。

(3) 第4回 JA 横浜子どもの未来支援助成

2022 年度に JA 横浜の創立（合併）20 周年記念事業企画として始まり、困難な状況にある子どもへの支援を横浜市限定の 200 万円のオーダーメイド助成として実施しました。2025 年度は食支援と学習支援の事業・活動を対象に助成しました。

(4) 第5期ユーコープ子ども応援助成

生活協同組合ユーコープの組合員寄付を助成原資としたオーダーメイド助成に取り組みました。子ども食堂等の子どもへの食支援活動に助成しました。

(5) 助成事業に関する広報活動

①助成募集チラシの作成

上期は、第 24 期福祉たすけあい助成募集チラシ、子どもの貧困に立ち向かう市民活動募集チラシを、下期は、第 25 期福祉たすけあい助成募集チラシ、JA 横浜子どもの未来支援助成チラシ、ユーコープ子ども応援助成チラシを作成し、神奈川県内の市民活動サポートセンター、生活クラブ生協および関係団体にチラシのデータを配布しました。また、メールマガジンによる広報も同時に行いました。

②公益事業コミュニティサイトの CANPAN に助成情報を掲載しました。

(6) 福祉たすけあい助成 助成団体報告&贈呈式の開催

①福祉たすけあい助成の助成団体と、寄付者である生活クラブ組合員が直接出会い、活動内容を共有することで福祉たすけあい基金への共感を深め、更なる寄付参加の拡大や地域での活動交流につなげていくことを目的に、生活クラブ共済たすけあい委員会と共催で開催しました。

②7月に第23期、12月に第24期の助成団体報告&贈呈式をオルタナティブ生活館にて開催しました。各助成団体が地域で取り組む具体的な活動を共有し、組合員と助成団体、さらに助成団体同士の交流が深まりました。これにより、新たな寄付参加のきっかけや、地域での活動連携につながる機会を生み出す場となりました。

	開催日	開催方法	参加者
第23期贈呈式	7月19日	贈呈式・助成団体活動報告： 会場参加&オンライン 交流会：助成団体、組合員リーダー 会場参加	80名
第24期贈呈式	12月2日	贈呈式・助成団体活動報告・交流会 会場参加	64名

(7) 地域生協との活動連携

助成団体報告&贈呈式を地域生協と助成団体との関係性を築く場と位置付け、地域生協での助成団体との交流や見学会等の交流支援につなげています。

2) 研修・セミナー事業（公益目的事業2）

(1) 市民活動応援フォーラムの開催(2026年3月12日オルタナティブ生活館スペースオルタにて)

「子どもの今を支え、希望ある未来へつなぐ～学校へ行かない選択に寄り添う居場所活動の今とこれから～」をテーマに、市民活動応援フォーラム2025を開催しました。生活クラブ組合員をはじめ、助成団体や地域団体、市民の方々など75名が参加し、多様な立場から子ども・若者支援について考える場となりました。

基調講演では、認定NPO法人フリースペースたまりば理事長・西野博之氏より、学校へ行かない子どもたちの現状や、地域で支えるための視点についてお話いただきました。子どもたちの声に寄り添う姿勢や、社会の側が柔軟に変わる必要性が示され、参加者の関心を集めました。

続く助成団体（NPO法人子どもと共に歩むフリースペースたんぼぼ、わわわのわ）による事例共有とパネルディスカッションでは、居場所づくりの意義や課題、新たな担い手の育成、地域連携の広げ方などについて議論しました。会場からも「地域でできる支援」「学校との連携」など多様な意見が活発に寄せられ、登壇者と参加者が一緒に考える充実した時間となりました。

また、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、公益財団法人横浜YMCA、JA横浜、生活クラブ生協、生活協同組合ユーコープ、神奈川県生活協同組合連合会、公益財団法人神奈川ゆめ社会福祉財団へ後援を依頼し、PR TIMESでのプレスリリースも実施しました。その結果、報道関係者にも広く情報が届き、3月30日付の神奈川新聞に記事が掲載されるなど、社会的な関心の高まりにもつながりました。2026年6月に報告集を発行します。

(2) 非営利団体サポート学習会

助成団体などを対象に、非営利団体サポート学習会を2回開催しました。

	日程	テーマ	講師	参加人数
第1回	9月9日	「非営利団体の法人会計と法人設立について」	早坂毅氏	47名
第2回	11月5日	「NPO入門講座」	手塚明美氏	16名

3) 相談・助言事業（公益目的事業3）

(1) 遺贈寄付相談に向けた取り組み

「遺贈寄付相談・市民ネット」運営委員会*で連携し、2025年度は8月に第1回相続セミナー（通算11回目）、12月に第2回相続セミナー（通算12回目）を開催しました。今年度からは個別相談会は開催せず、質問時間を多く設定して疑問や課題を参加者で共有しました。遺贈寄付につながった事例はまだありませんが、回を重ね遺贈への関心が少しずつ高まっています。セミナー参加者が専門家相談につながるケースも増えています。

【2025年度相続セミナー】

	日程	テーマ	講師	参加人数
第1回	8月22日	相続の基礎知識 相続登記の申請義務化	金子大也氏（公認会計士・税理士） 清水保代氏（司法書士）	22名 （会場12、 オンライン10）
第2回	12月9日	相続の基礎知識と遺言 書の書き方 遺贈寄付について	内海光弥氏（弁護士） 早坂毅氏（税理士、行政書士）	24名 （会場16 オンライン8）

*生活クラブ、福祉クラブ、一般社団法人市民社会連帯つながるかながわ、ワーカーズ・コレクティブ協会、WE21 ジャパン、地球の木、公益財団法人かながわ生き生き市民基金の7団体による「遺贈寄付相談・市民ネット運営委員会」ではホームページや共通の相談窓口の開設、相続セミナーに向けた広報など、緩やかなネットワークによる活動を行っている。

(2) 生活クラブまちづくり基金選考への支援

一般社団法人市民連帯経済つながるかながわより、「生活クラブまちづくり基金」助成審査に向けた助成要項・審査基準に基づく専門的見地からのアドバイス業務を受託しました。

(3) 生活クラブ共済連「つながりづくり助成伴走支援」への支援

一般社団法人生活クラブ福祉事業基金より、生活クラブ単協の福祉事業・活動推進の支援に携わりました。

4) 広報発行事業（公益目的事業4）

(1) 助成団体報告書の発行

タイトル	発行時期	発行部数	配布先
第23期福祉たすけあい助成BOOK（スタート助成）	2025年5月	1,000部	寄付者等
第24期福祉たすけあい助成BOOK（通常型）	2025年11月	1,000部	贈呈式参加者
第4期子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成	2025年11月	1,000部	寄付者等
第3期ユウコープ子ども応援助成	2025年7月	500部	寄付者等

(2) 「市民活動応援レポート」の発行

生活クラブ組合員向けに活動報告を作成し年2回（7月、11月）生活クラブ組合員に配布しました。またホームページへのアップも行いました。

(3) ホームページの更新

ワーコレほっとリンクへの作業の委託を継続してタイムリーな情報発信を行いました。

(4) メールマガジンの配信

2024 年度よりニューズレター形式からメールマガジンに変更し、助成募集情報や企画（研究会、イベント、学習会など）などを中心に随時配信しました。

メールマガジンは 1200 名以上に配信しています。

(5) 年次報告書の作成

2024 年度年次報告書を作成し関連団体や賛助会員へ配布しました。

3. 法人運営

1) 企画会議

新規助成プログラム検討プロジェクトの開催

- ・ 2025 年度企画会議のテーマとして「活動を社会に発信し、共感を高める活動助成プログラム」（仮称 WCA&SUZUKI 基金）について、5 月から 8 月の間に計 3 回の検討プロジェクト会議を開催しました。プロジェクトでの検討にもとづき女性の自立や社会進出の壁に立ち向かうアドボカシー活動応援プログラム（WCA&SUZUKI 基金）実施方針案を 12 月理事会に提案し、2026 年度に新規助成プログラムとして実施します。

2) 機関会議運営

(1) 定時評議員会の開催

6 月 7 日に定時評議員会を開催し、2024 年度収支決算書を承認しました。

役員の選出が行われ、評議員 19 名、理事 20 名、監事 3 名が選出されました。

(2) 理事会

定例理事会は 2025 年度より年 4 回開催とし、5 月、9 月、12 月、3 月に会場開催しました。また、6 月に臨時理事会を開催しました。各理事会の主な議決事項は以下の通りです。

	主な議決事項
第 1 回 (5 月度理事会) 5 月 17 日開催	①2025 年度定時評議員会議案の決定 ②市民団体向け学習会の実施計画 ③選考委員、選考部会メンバーの承認
第 1 回臨時理事会 6 月 7 日開催	①理事長の選任並びに副理事長の選任
第 2 回 (9 月度理事会) 9 月 13 日開催	①第 24 期福祉たすけあい助成選考結果の承認 ②子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成選考結果の承認 ③生活クラブ福祉たすけあい助成第 25 期実施計画・募集要項の承認 ④ユウコープ子ども応援助成実施計画・募集要項の承認 ⑤JA 横浜子どもの未来支援助成実施計画・募集要項の承認 ⑥市民活動応援フォーラム開催計画の承認
第 3 回 (12 月度理事会) 12 月 13 日開催	①2026 年度基本方針（一次討議） ②2025 年度上期事業報告・決算の承認並びに下期対策 ③女性の自立や社会進出の壁に立ち向かうアドボカシー活動応援プログラム（WCA&SUZUKI 基金）実施方針案 ④福祉たすけあい基金取組み組合員への領収書発行に係る予算の承認

第4回(3月度理事会) 3月14日開催	①2026年度事業計画、予算案、資金調達及び設備投資の見込みの決定、当該事業年度開始において行う公益目的事業の種類又は内容・収益事業の内容を記載した書類の承認 ②第25期生活クラブ福祉たすけあい助成選考結果の承認 ③ユーコープ子ども応援助成選考結果の承認 ④第4回JA横浜子どもの未来支援助成選考結果の承認 ⑤第26期生活クラブ福祉たすけあい助成募集要項並びにチャートの承認 ⑥子どもの学び応援助成2026募集要項並びにチャートの承認 ⑦2026年度生活クラブ福祉たすけあい助成贈呈式・つながる交流会の開催方針 ⑧助成を取り巻く社会的課題のアドボカシー活動助成プログラム(WCA&SUZUKI基金)実施方針案 ⑨2026年度年間会議日程案
------------------------	---

(3) 参加状況

定時評議員会

	定時評議員会
評議員	16/26

理事会

	5月度定例	第1回臨時	9月度定例	12月度定例	3月度定例
理事	15/23	13/20	14/20	11/20	14/20
監事	1/3	2/3	3/3	1/3	2/3